

令和3年度新たな都市活力推進特別委員会中間報告書 構成（案）

1 付議事件

オープンイノベーション等による企業支援や誘致促進、グローバル都市の実現、文化芸術創造都市や観光・MICEの推進等に関すること。

2 調査・研究テーマ

横浜における持続可能な観光都市の在り方について

3 テーマ選定の理由

昨今の世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和2年（1月～12月）の本市における観光集客人員及び観光消費額は、例年と比較して大きく減少した。また、自由な人の往来が制限される中、海外や国内遠方からの来街者の割合は縮小している。

この状況下において、本市の観光事業を持続可能なものとして今後につなげていくためには、近隣を対象としたマイクロツーリズムの推進や他都市との連携等によって、本市の観光事業の基盤を確保しつつ、横浜の様々な魅力を掘り起こし、発信することでアフターコロナの観光需要に備えていくことが重要である。

また、本市の観光振興による発展を将来まで見据え、訪問客、産業、環境、受入地域の需要に適合しつつ、未来の経済、社会、環境への影響に十分配慮した観光を実現していくことが重要になる。

そこで、令和3年度は、これら様々な側面から、横浜における持続可能な観光都市の在り方について調査・研究することとしたい。

4 委員会活動の経緯等

(1) 令和3年6月7日 委員会開催（第1回）

ア 議題

令和3年度の委員会運営方法について

今年度の委員会運営方法について意見交換を行った。

イ 委員意見概要（当日の委員意見を記載）

(2) 令和3年7月14日 委員会開催（第2回）

ア 議題

令和3年度の委員会運営方法について

今年度の調査・研究テーマを「横浜における持続可能な観光都市の在り方」についてと決定した。

イ 当局説明概要

調査・研究テーマに関連する本市施策等について、次のとおり当局から説明を聴取した後、意見交換を行った。

【出席局】文化観光局

- (ア) 横浜市内主要ホテル平均稼働率（2017年～2021年）（説明概要を記載）
- (イ) 主要ホテルの状況（ヒアリングより）（説明概要を記載）
- (ウ) 市内観光・MICE関連事業者復興支援事業（説明概要を記載）
- ウ 委員意見概要（当日の委員意見を記載）
- (3) 令和3年9月10日 委員会開催（第3回）
 - ア 議題
参考人の招致について
 - イ 委員会開催概要
本委員会の付議事件に関連して、次回委員会において参考人からの意見聴取を行うことを決定した。
参考人：株式会社地域ブランディング研究所
代表取締役 吉田博詞（よしだ ひろし） 氏
案件名：横浜における持続可能な観光都市の在り方～マイクロツーリズム・リピーターファンづくりの観点から～について
- (4) 令和3年9月30日 委員会開催（第4回）
 - ア 議題
横浜における持続可能な観光都市の在り方～マイクロツーリズム・リピーターファンづくりの観点から～について
 - イ 参考人講演概要（講演概要を記載）
 - ウ 委員意見概要（当日の委員意見を記載）
- (5) 令和3年12月2日 委員会開催（第5回）
 - ア 議題
調査・研究テーマ「横浜における持続可能な観光都市の在り方」について
 - イ 当局説明概要
調査・研究テーマに関連する本市施策等について、次のとおり当局から説明を聴取した後、意見交換を行った。
【出席局】市民局・経済局・環境創造局・温暖化対策統括本部・文化観光局
(ア) スポーツツーリズムについて（説明概要を記載）
(イ) 来街促進につながる商店街活性化支援について（説明概要を記載）
(ウ) 横浜中央卸売市場プロモーションの実績と今後について（説明概要を記載）
(エ) ガーデンネックレス横浜について（説明概要を記載）
(オ) 観光分野と連携したSDGs未来都市の取組について（説明概要を記載）
 - ウ 委員意見概要（当日の委員意見を記載）
- (6) 令和4年2月8日 委員会開催（第6回）
本日の概要を記載
- (7) 次回委員会（第7回）
当日の概要を記載

5 横浜における持続可能な観光都市の在り方についてのまとめ

委員意見等から導き出される本委員会のまとめを記載